

2020年8月31日

パナソニックホームズ株式会社

「災害に強い家」について家族みんなで知り、考える
『4ひきのこぶた』ぬりえ投稿キャンペーンを9月1日から開始
～SNSのInstagramとLINEで10月30日まで募集～

パナソニックホームズ株式会社は、「災害に強い家」について家族みんなで知り、考える、『4ひきのこぶた』ぬりえ投稿キャンペーンを、9月1日から10月30日の期間、SNSのInstagramとLINEで展開します。

当キャンペーンは、9月1日「防災の日」を機に、主に子育てファミリーのお客さまが、4ひきのこぶたの絵本（当社のキャンペーンサイトに動画掲載および全国の展示場でお渡し）から、「災害に強い家」について情報を得、話し合っ理解を深めていただくことを狙いに企画・展開。SNSに、家族みんなで描いた「4ひきのこぶたのぬりえ」を投稿いただきます。投稿者には、抽選で50名に、指にはめて遊べる「4ひきのこぶた」ゆび人形セットをプレゼントします。さらに、Wチャンスとして、抽選に外れた方にも抽選で100名に「4ひきのこぶた」オリジナルクオカードPay(1,000円分)をプレゼントします。

昨今、生活様式の変化により、在宅勤務やリモート学習、ステイホームによる家族とのふれあい時間が日常化しています。当社は、今回展開するキャンペーンを機に、変化する暮らしの環境においても、国から求められている“災害時の在宅避難”に対応し、災害後も安心して暮らし続けることができる「災害に強い家」こそが、“おうち時間を楽しむ”ための重要な基盤となることを、お客さまにあらためてご認識いただければと考えています。



『4ひきのこぶた』ぬりえ投稿キャンペーン イメージ

- 本件に関するお問い合わせ先 パナソニックホームズ株式会社 宣伝・広報部 TEL: 06-6834-1955
- ホームページ <https://homes.panasonic.com/>

当社は、2019年4月から、自然災害から家族を守り、安心して暮らせる「防災持続力を備える家」を提案しています。この住まいは、建物の頑強な構造をベースに、ライフラインの確保やIoTによる自動的なシャッター開閉や蓄電制御、被災時のさまざまなサポート等で、いつ発生するかわからない自然災害に対し、住む人の意識だけでなく、住まい自体が防災力を持続する力を持つことで、真に安全・安心な暮らしを実現するものです。

「防災持続力を備える家」の提案以来、当社は、創業者 松下幸之助が提唱した「良家」の住まいづくりの理念に基づき、建物性能の向上はもちろん、工業化住宅業界最長^{※1}の初期保証『35年あんしん初期保証』や、地震の揺れで万一建物が全壊・半壊した場合も当社が責任を持って建て替え・補修を保証する「地震あんしん保証」^{※2}など、より一層「災害に強い家」としてお客さまが安心してお住まいいただける住まいの提供に邁進しています。

■ 『4ひきのこぶた』ぬりえ投稿キャンペーン 概要

応募期間：2020年9月1日(火)～10月30日(金) 午後12時まで

S N S：Instagram・LINE

プレゼント：「4ひきのこぶた」ゆび人形セット 抽選で50名

「4ひきのこぶた」オリジナルクオカード Pay(1,000円分) 上記に外れた方に抽選で100名

キャンペーンサイト：<https://homes.panasonic.com/fair/kobuta/>

■ 応募方法

ぬりえシートは、キャンペーンサイトからダウンロードできるほか、当社の展示場でお渡ししています。

The banner features a yellow background with the text: 「ぬりえシートをダウンロード & 完成したぬりえの写真を撮影をしよう！」 (Download coloring sheets & take photos of completed ones!). Below this, it says 「ダウンロードして、自由に乗しく、色をぬってみよう！」 (Download and color freely!). There are four examples of coloring sheets showing a pig character in various settings: a living room, a field, a house, and a house with a chimney. Each example has a 'ダウンロード' (Download) button below it. At the bottom, there is a 'ぬりえのみほん' (Coloring book) button and social media icons for Instagram and LINE with the text 'から応募できるよ!' (You can apply from here!).



Instagramからご応募の場合



STEP 1
パナソニック ホームズ
公式アカウントを
フォローしよう！

STEP 2
#パナソニックホームズ
#家族を守る家を選ぼう
2つのハッシュタグを
つけて完成したぬりえ
の写真を投稿しよう！

STEP 3
当選された方には、
InstagramのDMが
届くよ！

※ #パナソニックホームズ #家族を守る家を選ぼうをつけて投稿いただいた写真はサイトに掲載させていただく場合がございます。



まずは、パナソニックホームズ
公式アカウントをフォローしてね！

@panasonichomes_official >

LINEからご応募の場合



STEP 1
パナソニック ホームズ
公式アカウントと
友だちになろう！

STEP 2
トークルームから、
完成したぬりえの
写真を投稿しよう！

STEP 3
当選された方には、
トークルームに、
メッセージが届くよ！



まずは、パナソニックホームズ
公式アカウントを友だちに追加してね！

@panasonic_homes >



◆YouTube で「4ひきのこぶた」と学ぶ家づくりの動画を公開

「災害に強い家」の重要性について紹介する「4ひきのこぶた」の動画コンテンツを、YouTube で公開しています。

◎ 地震に強い家篇(30 秒)

https://youtu.be/v_0FT1vfo3M

◎ 災害に強い家篇(5 分 38 秒)

<https://youtu.be/adawFmTfE9w>

◆パナソニック ホームズ 公式 SNS

当社の公式 SNS アカウントを、Instagram と LINE で開設しています。Instagram では、パナソニック ホームズが提案する様々な暮らしのシーンの写真を投稿し、住まいづくりやインテリアのご参考にしていただけます。また、LINE では、住まいづくりに役立つフェアやキャンペーン情報をご提供しています。

◎Instagram URL

https://www.instagram.com/panasonichomes_official/

◎LINE URL

<https://lin.ee/xAB0flb>

※1:工業化住宅業界において(2019 年 9 月 当社調べ)

※2:地震あんしん保証には条件がありますので、詳細はホームページにてご確認ください。建物全壊時に建て替え、半壊時に補修により原状復帰の役務を提供するもので、金銭をお支払いするものではありません。また、地盤沈下・津波・火災による損害は対象外となりますので、地震保険の加入を推奨します。

◎「4ひきのこぶた」の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/common/kobuta/>

◎「防災持続力を備える家」の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/common/anshin/>

◎「35 年あんしん初期保証」の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/common/feature/support/>

◎「地震あんしん保証」の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/common/jishin-hosho/>

ご参考

◆ 生活者の災害避難に関する意識

コロナ禍での生活者の災害避難意識において、指定避難所以外の場所に避難する意向を持つ人のうち、自宅を避難先に想定している人が最も多くなっています。(株式会社サーベイリサーチセンター調べ)

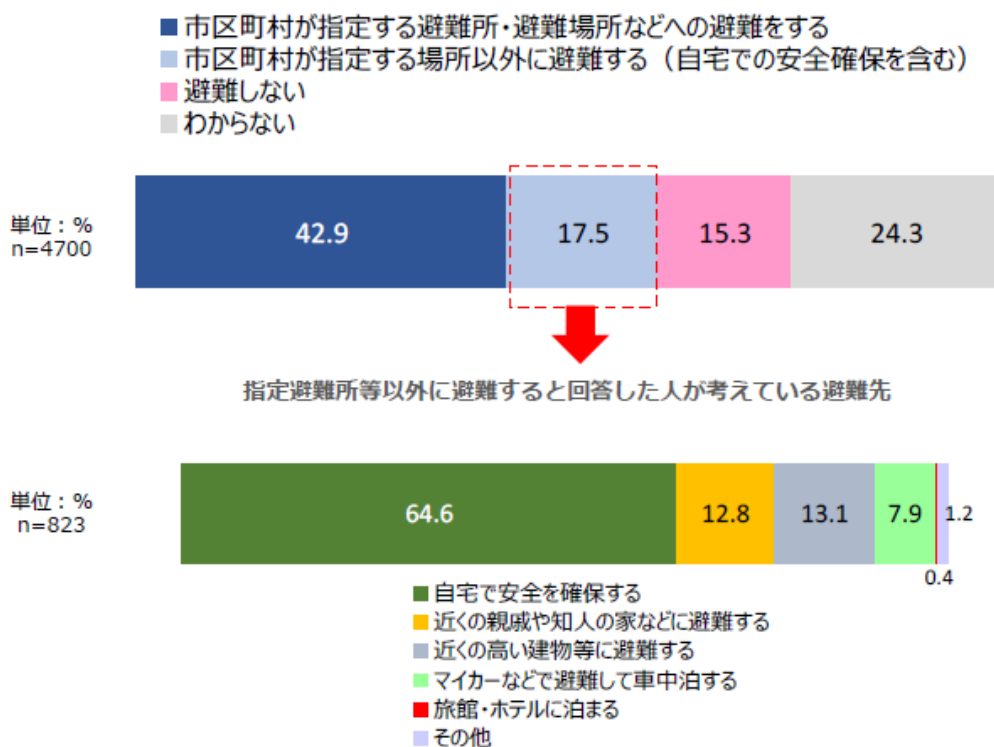
■ 風水害にあう危険性が高まった場合

大雨や台風などで、居住地域が風水害にあう危険性が高まった場合に、指定避難所等に避難する意向をたずねたところ、「市区町村が指定する避難所・避難場所などへの避難をする」が42.9%と最も多く、それ以外の場所に避難する意向がある人は17.5%でした。

また、およそ4人に1人が「わからない」(24.3%)と回答していますが、この中には潜在的な指定避難所等への避難ニーズも含まれると考えられます。

指定避難所等以外に避難すると答えた人に、考えている避難先をたずねたところ、「自宅で安全を確保する」が64.6%と最も多くなっています。

風水害時の避難意向



指定避難所等以外を避難先と考える回答を（回答者が自認する）風水害のリスク別にみると、リスクが高いと考えられる地域に住む人でも、半数以上が「自宅で安全を確保する」（58.9%）と回答しています。

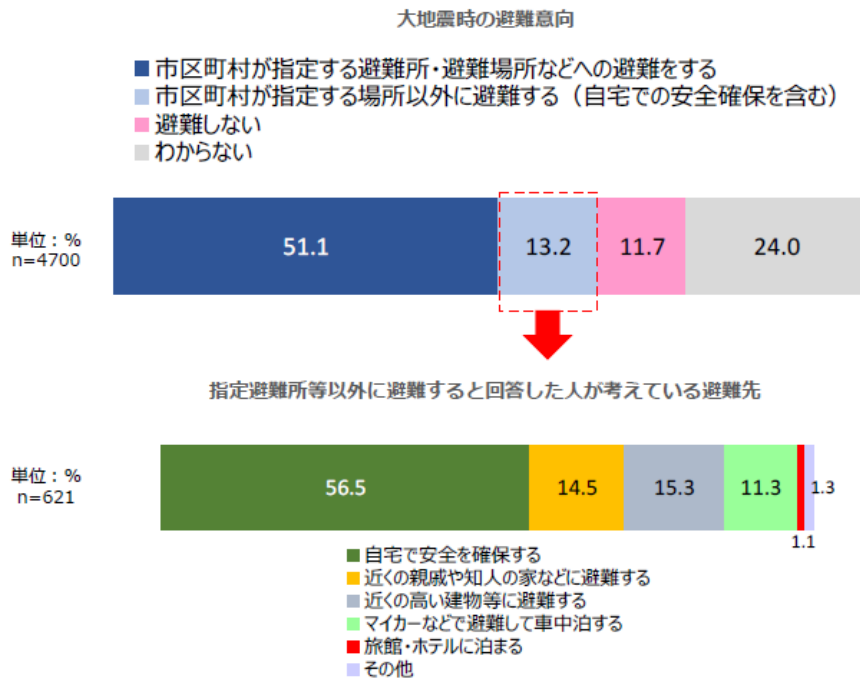
新型コロナ禍の分散避難・在宅避難の意味を正しくとらえ、自宅が風水害の安全確保に本当に適しているかどうか、適した避難手段・避難先をしっかりと考えることの重要性が示されています。

■大地震の発生やそれに伴い大きな余震や津波などの危険がある場合

大地震の発生や余震・津波などの危険がある場合に、指定避難所等に避難する意向をたずねたところ、「市区町村が指定する避難所・避難場所などへの避難をする」が51.1%と最も多く、4ページに示した風水害の場合よりも避難所等への避難意向が約8ポイント高くなっています。

それ以外の場所に避難する意向がある人は13.2%でした。またおよそ4人に1人が「わからない」（24.0%）と回答しており、この割合は風水害の場合とほぼ同様です。

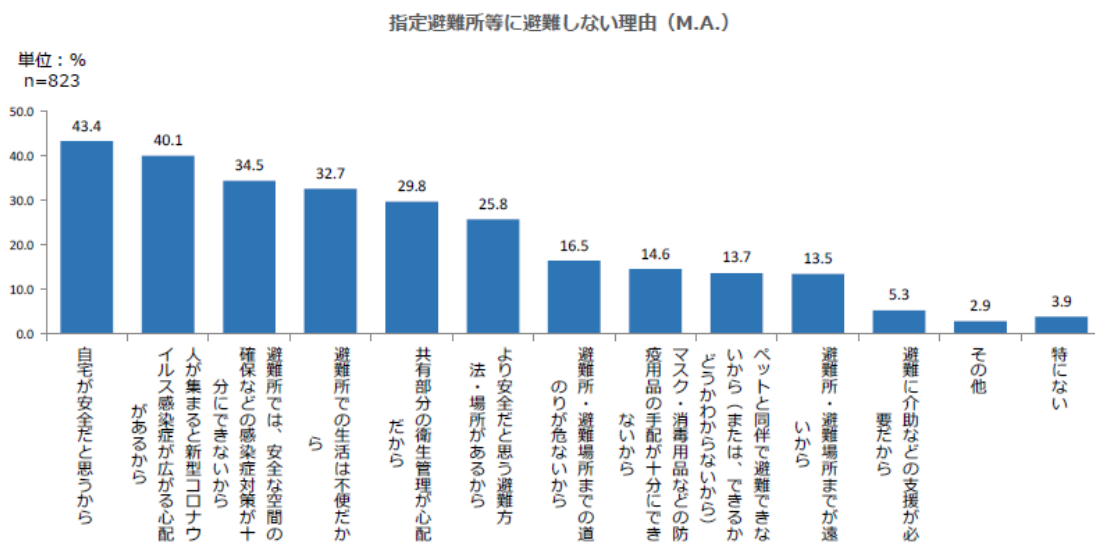
指定避難所等以外に避難すると答えた人に、考えている避難先をたずねたところ、「自宅で安全を確保する」が56.5%と最も多くなっています。これは、風水害の場合よりも約8ポイント低くなっています。



指定避難所等以外を避難先と考える回答を（回答者が自認する）地震・津波のリスク別にみると、リスクが高いと考えられる地域に住む人でも、約半数が「自宅で安全を確保する」（50.8%）と回答しています。

■指定避難所等に避難しない理由

避難先を指定避難所等としない理由は、「自宅が安全だと思うから」（43.4%）「人が集まると新型コロナウイルス感染症が広がる心配があるから」（40.1%）がそれぞれ約4割となっています。以下「避難所では、安全な空間の確保などの感染症対策が十分にできないから」「避難所での生活は不便だから」「共有部分の衛生管理が心配だから」などとなっています。



- 調査主体 : 株式会社サーベイリサーチセンター
- 調査名称 : 【第3回】新型コロナウイルス感染症に関する国民アンケート
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネット調査(インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査)
- 調査対象 : 20歳以上男女モニター
- 有効回答 : 全国47都道府県各100サンプル割付回収(全4700サンプル回収)
- 調査期間 : 2020年(令和2年)5月29日(金)配信開始～6月2日(火)調査終了

◆ 地震の揺れによる万が一の建て替え・補修を保証する「地震あんしん保証」を戸建・集合住宅に展開中

当社は、地震の揺れで万が一建物が全壊・半壊した場合、当社が責任を持って建て替え・補修を保証する「地震あんしん保証」付き住宅を、2020年4月より戸建・集合住宅に展開中です。このたび、4月の発売開始以来8月までの累計受注が1,900棟^{※3}を達成しました。



『地震あんしん保証』付き住宅 イメージ

近年、未曾有の自然災害が頻発している日本では、建物の被害と共に、被災生活による健康被害が大きな社会問題となっています。毎年の台風被害により人々の防災意識は高まっていますが、当社が2016年から毎年実施している住宅購入意向者に対するアンケート調査では、「耐震性能が優れている」がメーカー選定時の重視ポイントで常に1位2位となっており^{※4}、「地震に対して安心して暮らせること」は、地震大国日本において家を建てる人の不変のニーズであると言えます。

今後発生すると言われている南海トラフ地震は、地震の揺れによる全壊家屋107万棟にのぼり^{※5}、東日本大震災をはるかに凌ぐ規模の被害が予想されています。このような背景から、地震保険の付帯率は16年連続で増加し^{※6}、住宅購入者の地震への備え、安心を求める意識はますます高まっていると言えます。

地震による住まいの損害を補償する損害保険には地震保険があります。しかし、地震保険では、万一建物が倒壊した際に、建て替え費用の半額しか補償されず、「地震保険に加入していても不安」と92%の人が感じています。国が「生活の再建」として位置付ける地震保険と、「建てた家を再建したい」という人々のニーズにはギャップがあり、日々の暮らしを心から安心して過ごすということに対しては課題があることが分かりました。

「地震あんしん保証」付き住宅を発売することは、パナソニックホームズが、工業化住宅において唯一、超高層ビルと同じ構造技術を採用し、日本最大級の耐震実験^{※7}に耐えた「強さ」と、過去の大地震の揺れによる倒壊がゼロという「実績」に自信があるからこそ実現できるもので、お客さまがより一層安心して暮らせる住まいを提供してまいります。

当社は、創業者 松下幸之助が提唱した、「良家」の住まいづくりの理念に基づき、自然災害から家族を守り、安心して暮らせる防災住宅を追求し続けてきました。「地震あんしん保証」は、長寿命で良質のストックとなる住宅供給を社会的使命として取り組んできた当社の住まいにとって、まさに強さの証となるものです。

当社は、このたびの受注実績を通過点とし、今後も、地震をはじめとする自然災害に強く、できる限りの在宅避難も可能とする住まいのさらなる普及拡大に、より一層邁進していきます。

■「地震あんしん保証」 開発の背景

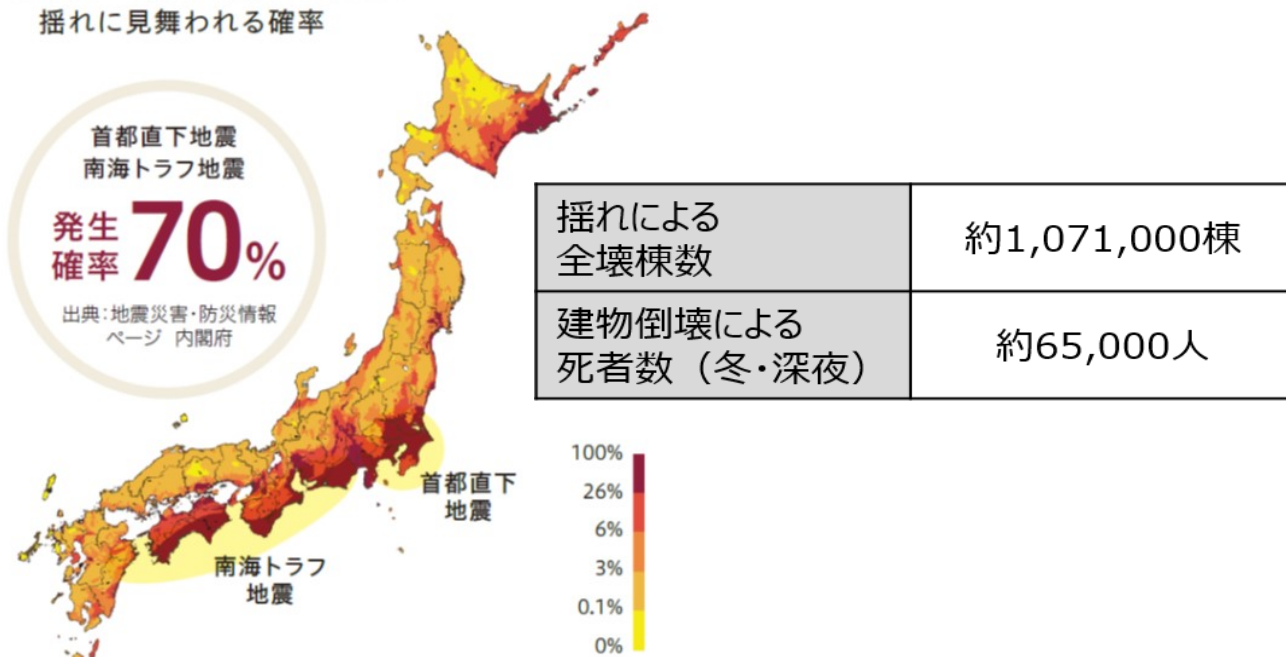
① 今後 30 年以内に、いつどこで大地震が起きてもおかしくない！

日本で、近い将来の発生の切迫性が指摘されている大規模地震には、「南海トラフ地震」「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」「首都直下地震」「中部圏・近畿圏直下地震」があります。中でも、関東から九州の広い範囲で強い揺れと高い津波が発生するとされる「南海トラフ地震」は、今後 30 年以内に発生する確率が 70%～80%と、高い割合で予想されています。

加えて、今想定されている大規模地震にだけ注意しておけばいいという訳ではありません。例えば、熊本地震(2016年4月発生)を引き起こした布田川断層帯における M7.0 級の地震発生確率は、30 年以内にわずか 1%未満と想定されていました。地下に隠れていて、まだ見つかっていない活断層もあるとされており、日本全国いつどこで大きな地震が起きてもおかしくない状況にあります。

【参考】南海トラフ巨大地震の被害想定(内閣府・防災情報のページより)

●今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



※出典：地震調査研究推進本部「全国地震動予測地図2018年版」文部科学省

② 建物全壊時の建て替え費用を地震保険で全額賄えないことは、意外と知られていない！

将来の大地震に対する不安の高まりから、地震保険の付帯率は年々増加しています。ただし、地震保険は、生活再建費用等の補填という位置付けで“被災した人々の生活の安定に貢献する”ことを目的にできた制度で、「建物を建て直すための費用を補償する保険」ではないという点に注意が必要です。

そのため、地震保険金額は、最大で火災保険金額の 50%までしか支払われません。また、保険金額の上限も建物は 5,000 万円と決まっています。

当社が実施したアンケートの結果では、回答者の 47%の人が、地震保険では、火災保険の 50%までしか支払われないことを「知らない」と答えています。また 92%の人が、そのことを「不安」と答えています。地震保険だけでは、備えが十分ではないことが、あまり知られていないのが現状です。

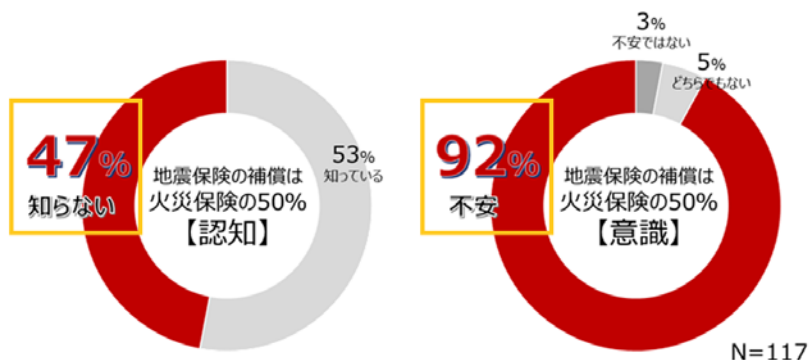
【参考】地震保険 付帯率の推移
(出典:損害保険料率算出機構)

●地震保険の付帯率の推移



出典:地震保険統計速報 - 損害保険料率算出機構

【参考】地震保険に関する意識調査(当社調べ)



■特長・概要

① 「地震あんしん保証」付き住宅を、戸建・集合住宅に展開

地震保険の加入だけでは、火災保険金額(建物取得金額)の最大でも50%の補償となり、建て替えを行う場合、費用の半額は自己負担になってしまいます。

地震の揺れで万が一建物が全壊・半壊した場合、当社が責任を持って建て替え・補修を保証する「地震あんしん保証」に加えて、地震保険に加入いただくことにより、「建物の再建」と「生活の再建」が可能となることで、お客様へのさらなる安心の価値を提供してまいります。

●地震の揺れによる全壊で、建て替えを行う場合

一般住宅	『地震あんしん保証』付き住宅
<p>50%は自己負担</p> <p>地震保険の給付金 (最大5,000万円)</p>	<p>当社が建て替え (最大5,000万円)</p> <p>さらに、地震保険の給付金あり (最大5,000万円)</p>

② 創業以来追究してきた地震に対する「強さ」と「実績」により「地震あんしん保証」を実現

「地震あんしん保証」を新築戸建・集合住宅に付帯して新発売することは、パナソニック ホームズが、工業化住宅において唯一、超高層ビルと同じ構造技術を採用し、日本最大級の耐震実験に耐えた「強さ」と、過去の大地震の揺れによる倒壊がゼロという「実績」を積み上げてきたからこそ実現できるものです。

●日本最大級の耐震実験で実証した^{※7} 倒壊・ゆがみを抑える強い構造

パナソニック ホームズは、超高層ビル建築にも使用される「座屈拘束技術」を工業化住宅で初めて採用^{※8}。実際の住宅を使用した過酷な耐震実験では、一部にクロスやタイルのひび割れ、瓦の割れがあるものの、構造体の交換が必要となるような大きな損傷はなく、地震への強さを実証しました。

強さ



先進技術を採用した
高耐力制震フレーム



国内最大級の実験施設の油圧能力の
限界に挑戦した耐震実験

●過去に発生した阪神・淡路大震災や熊本 地震などの大地震で倒壊ゼロの実績

パナソニック ホームズは、過去の大地震の揺れによる倒壊がゼロという実績を誇ります。

実績



阪神・淡路大震災後の当社の住まい

地震名	最大震度	計測震度	パナソニック ホームズ	
			対象棟数	倒壊
阪神・淡路大震災	7	6.6	14,941	0
東日本大震災	7	6.6	158,290	0
熊本地震	7	6.7	3,946	0

■「地震あんしん保証」保証条件

項目	条件
対象物件	制震鉄骨軸組構造(HS 構法)・大型パネル構造(F 構法)の耐震等級3を有する居住用建物 ^{※9}
適用範囲	計測震度 6.8 以下の地震の揺れによる建物の全壊、大規模半壊、半壊
保証内容	全壊時: 建て替え、大規模半壊時・半壊時: 補修を行う ^{※10}
保証限度額	1 回の地震につき 1 棟あたり、建物価格、または 5,000 万円のいずれか低い金額
保証期間	お引渡し日から 10 年間

※「計測震度」とは、地震観測点で震度計によって測定された地表の揺れ(地震動)の強さの程度を数値化した震度のことです。計測震度 6.5 以上は全て震度 7 になります。当社は日本最大の加振能力を有する実験施設にて、油圧能力の限界加振実験を行い、過去の大地震を上回る計測震度 6.8 でも構造体に大きな損傷はありませんでした。

- ※3: 8 月度受注棟数の推計値を含む。
- ※4: 2016 年から毎年 6~7 月に実施している 3 年以内住宅購入意向者に対するインターネット調査(N700)。対象エリア: 関東 1 都 3 県(東京・神奈川・埼玉・千葉)、関西 2 府 4 県(大阪・京都・和歌山・滋賀・奈良・兵庫)。
- ※5: 内閣府/政府 地震調査研究推進本部、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループによる推定。
- ※6: 出典/損害保険料率算出機構
- ※7: 2011 年 6 月、日本最大の加振能力を有する実験施設にて実施。基礎については、本実験施設では確認できないため、他の実験でクラック・割れが生じて、建物が安全であることを確認しています。建物条件によっては同様の実験結果とならない場合もあります。当実験で制震鉄骨軸組構法の高い耐震性は確認できましたが、実際の地震におけるお客さまへの保証は保証基準に基づきます。
- ※7: 2020 年 3 月当社調べ
- ※8: 建物には門、塀、アプローチ、物置、車庫その他の付属建物は含みません。
- ※9: 当社に工事を依頼することが条件です。役務を提供するものであり金銭の支払いは行いません。既存建物等の解体・撤去費用は負担しません。

◆ 防災アドバイザー・防災士・ファイナンシャルプランナー 岡部 梨恵子氏による「WEB ライブセミナー」を 9 月 13 日(日)に開催

当社では、パソコン・スマートフォン・タブレットで、住まいづくりと暮らしに役立つ情報や相続対策をオンラインで学べる『WEB ライブセミナー』をシリーズ開催しています。

最終回となる 9 月 13 日(日)は、防災アドバイザー・防災士・ファイナンシャルプランナー 岡部 梨恵子氏により、「もしもの時に備える、主婦目線の防災備蓄術」をテーマに講演いただきます。

第5回

9/13

日


10:00~11:00

もしもの時に備える 主婦目線の防災備蓄術

最近頻発する地震の他、台風や豪雨による被害も毎年のように発生。本セミナーではそれらの災害に「どう備えていけばよいのか?」を学ぶことができます。コロナ後の防災は、三密の回避が難しい避難所よりも自宅にとどまり生活ができるよう「備蓄」しておくのがおススメ。無理なくラクに備蓄ができるようになるノウハウを伝授します。

講師

防災アドバイザー・防災士・ファイナンシャルプランナー・整理収納アドバイザー **岡部 梨恵子氏**




受講無料


パソコン、スマホ、タブレットで簡単にWEBライブ動画のセミナーが視聴できます。

まずはお申し込みください!

ライブでの視聴は、各セミナー開始1時間前までに申し込みを完了しておくことをお勧めします。



セミナー視聴
申し込みは
こちらから




セミナー開催当日中に
ライブセミナーをご視聴の上、
アンケートにご回答の方に

「クオ・カード ペイ」
(500円分)プレゼント!

さらに

6月~9月に開催するセミナーのアンケートにご回答の方の中から

抽選で合計10名様に プレゼント!



※クオ・カード ペイは各セミナー 1世帯1回限りとなります。

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

岡部氏からは、当社の「地震あんしん保証」についても共感の意見をいただいています。

「地震あんしん保証」の内容を聞いた際に、ファイナンシャルプランナーでもあり、保険の専門家の立場からしても驚きが大きかったです。今までにない保証がついているあり得ない住宅があるのだとインパクトを感じました。

実際に、私は多くの被災地、被災者の住まいを見てきただけに、これなら万が一の震災に遭っても本当の意味で安心感を持てると確信しました。

日本は地震大国です。ある日突然被災者になりうるのです。建物全壊・半壊のときの建て替え・補修を保証してくれる「地震あんしん保証」付き住宅が、すでに 1,900 棟もお客さまから共感をいただいています。

ハード面の安全性はもちろん、さらに被災後の安心まで保証されている住宅です。「災害に強い家」ですから、大切なご家族を守り、将来にわたって末永く安心してお暮らしいただけると思います。

(岡部梨恵子氏 プロフィール)

千葉県浦安市在住。東日本大震災で街の 86%が液状化現象に直面した体験から防災に取り組むようになる。防災士・ファイナンシャルプランナー・整理収納アドバイザーなどの資格を活かし、防災グッズや備蓄品、被災後の食やお金の知識についてもセミナーを開催。その分かりやすい語り口から、メディアへの出演も多数。

◆ WEB からご予約の上、展示場にご来場いただいた方へ防災に役立つ「安心 BOX」プレゼント

パナソニック ホームズの展示場に、WEB からご予約の上、ご来場いただいた方には、「災害に備える」住まいの知恵と工夫を紹介した「災害時も、ずっと暮らせる安心 BOOK」と、普段は夜間のウォーキングやアウトドアに、万一のときは非常用・防災用ライトとして使える「パナソニックの LED ネットライト」をセットにした、防災に役立つ [安心 BOX]をプレゼントいたします。さらに、WEB から、現地見学や「リモート見学」にご予約いただいた方には QUO カードを差し上げます。



※プレゼントは数に限りがありますので、無くなり次第終了します。